

一般質問通告書

多可町議会議員 河崎 一 様
多可町議会議員 廣畑 幸子



平成26年 5月 26日

受領 午前 12時 55分 午後

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 介護からの卒業式を多可町でも	町長

年々上がっていく介護保険料。旧町時代、全国と比べて安かった介護保険料ですが、今では全国平均を上回ってます。しかし高いからといって、良い・だめと一言で片づけるわけにはいきません。しかし、介護保険料が高いということは、個人負担も高いという事、町の介護給付費も高いということです。

多可町は、財政が豊かとは言えない町です。高齢化率は、26年6月1日現在、31.13%となっています。もちろん、高齢者の方がすべて介護保険を使われるわけではありませんが、それでも認定率は18.4%となっています。現状を考えると、保険料は今後も上がっていくことは容易に想像できます。

そこで、介護保険料をいかにすれば安くできるかを考える必要があると思います。

参考にすれば良いと考える事例があります。「埼玉県和光市」でされている「介護からの卒業」です。

これは、要介護認定を受け介護サービス受けた後も、プランが自立を促すものか徹底的にチェックし、身体機能を回復させるプログラムを用意。「要支援」の認定を受けた人のおよそ4割が「卒業式」を迎えるといいます。大変素晴らしい事です。

そこで、お聞きします。

この埼玉県和光市の事例を研究し、多可町でも取り入れてみようというお考えはありますか。

他にも良い事例はたくさんあります。その良い事例を早く研究し、多可町バージョンを作るべきと考えますがいかがでしょう。

現在の介護予防教室をもっと充実させることは考えられませんか。

「介護認定を受けられた方が、介護サービスを受けなくても良い状態になる」ご本人にとっては明るい目標ができ、元気な方が増えます。町にとっては介護給付費の削減につながります。ぜひやるべきと考えますが、いかがですか。